QA×AI実践ラボ｜実務用チェックシート

AI生成テストケース 6観点レビューチェックリスト

生成AIが作成したテスト観点、確認項目、テストケースを、そのまま採用せずに確認するためのチェックリストです。各項目を「問題なし・要修正・対象外」で判定し、修正理由と対応を記録します。

1. 適用可能性
2. スコープ
3. 手順の正確性
4. 網羅性
5. 粒度
6. プロセス適合

対象

- AIで作成したテスト観点・確認項目・テストケース
- AIで整理または変換した既存テストケース

判定方法

判定	意味
問題なし	現場で使用できる
要修正	修正または追加確認が必要
対象外	今回の成果物には該当しない

重大な問題が1つでもある場合は、そのままテストへ使用せず、修正または再作成してください。

提供：QA×AI実践ラボ　**運営：**ナギ
Web：https://qa-ai-practice.jp/　**版：**1.0　**更新日：**2026年7月18日

1. 適用可能性

現場の環境、体制、制約の中で実際に使える内容かを確認します。

- ☐ 実在する環境、端末、データ、権限で実行できる
- ☐ 現場で利用できるツールや設備を前提にしている
- ☐ 準備できないデータや再現できない状態を要求していない
- ☐ 必要な工数や技能が現実的である
- ☐ AIが一般論として追加した、現場に存在しない前提がない

判定： ☐ 問題なし　☐ 要修正　☐ 対象外

---

2. スコープ

対象機能、テストレベル、QAの責任範囲に合っているかを確認します。

- ☐ 対象機能と対象外機能が正しく区別されている
- ☐ 今回のテストレベルに合っている
- ☐ QAチームが担当する責任範囲に収まっている
- ☐ 開発、運用、セキュリティなど他チームの作業が混入していない
- ☐ 要求されていない機能や仮定上の仕様をテストしていない

判定： ☐ 問題なし　☐ 要修正　☐ 対象外

---

3. 手順の正確性

前提条件、操作、期待結果が正しく、実際に実行できるかを確認します。

- ☐ 前提条件と事前準備が明確である
- ☐ 操作の順序が仕様や実装と一致している
- ☐ 画面、項目、ボタンなどの名称が正しい
- ☐ 入力値と操作結果の関係が正しい
- ☐ 期待結果が観測可能である
- ☐ 手順を実行すれば同じ結果を再現できる

判定： ☐ 問題なし　☐ 要修正　☐ 対象外

---

4. 網羅性

必要な観点や条件が漏れていないかを確認します。

- ☐ 正常系、異常系、境界値が必要な範囲で含まれている
- ☐ 状態、権限、データ条件、設定差が考慮されている
- ☐ 主要な業務フローと例外フローが含まれている
- ☐ 過去障害から得た重要な観点が反映されている
- ☐ 既存テストで重要な観点が失われていない
- ☐ 要求と仕様の各項目に対応するテストがある

判定： ☐ 問題なし　☐ 要修正　☐ 対象外

---

5. 粒度

観点、確認項目、テストケースの詳しさが目的に合っているかを確認します。

- ☐ テスト観点に実行手順レベルの詳細が混在していない
- ☐ 確認項目が大きすぎず、確認内容を判断できる
- ☐ テストケースが細かく分割されすぎていない
- ☐ 1つのテストケースに無関係な確認が詰め込まれていない
- ☐ 同じ階層の項目で詳しさがそろっている
- ☐ 重複する観点やテストケースが整理されている

判定： ☐ 問題なし　☐ 要修正　☐ 対象外

---

6. プロセス適合

組織や案件で定義されたプロセス、用語、成果物の形式に合っているかを確認します。

- ☐ 現場で定義されたテストプロセスに沿っている
- ☐ テストレベルとテストタイプの定義が正しく使われている
- ☐ 現場の用語とAIが使った一般用語のずれがない
- ☐ 必須の識別子、優先度、前提条件などが記載されている
- ☐ 要求・仕様・テスト間の追跡関係を確認できる
- ☐ レビュー、承認、変更管理のルールに沿っている

判定： ☐ 問題なし　☐ 要修正　☐ 対象外

レビュー結果のまとめ

観点	問題なし	要修正	対象外	主な修正内容
適用可能性				
スコープ				
手順の正確性				
網羅性				
粒度				
プロセス適合				

最終判定： ☐ 採用　☐ 修正後に採用　☐ 再作成　☐ 不採用

レビュー担当：　　**レビュー日：**

次の対応：

利用上の注意

- AIの出力は下書きとして扱い、最終判断は対象業務と仕様を理解した人が行ってください。
- このチェックリストだけで、テストの完全性や製品品質を保証することはできません。
- 組織や案件のテスト方針、品質基準、セキュリティ規程を優先してください。
- AIへ入力する情報は、所属組織のルール、契約条件、データ利用条件を確認してください。

利用条件

個人または所属組織内での業務利用、印刷、記入、項目の調整が可能です。販売、無断転載、不特定多数への再配布、自作物としての公開はできません。

© 2026 QA×AI実践ラボ / ナギ　https://qa-ai-practice.jp/